

地域支え合い活動者交流会

袋井南部圏域・第2層協議体「地域・これからの会」と第2層生活支援コーディネーターが連携し、地域で支え合い活動に取り組んでいる方々の苦労や運営上の工夫、これからの課題などを活動者同士で共有していただき、活動を進める上での一助になればと企画し、50名の方に参加していただきました。



■ 助け合いゲーム

ご近所同士の助け・助けられる体験を行い、自分の困っていることをどのように頼んだら相手は受けてくれるのかを考えたり、自分の出来ることは何だろうか考える機会になったなどの感想をいただきました。

■ 情報・意見交換

・活動することで、スタッフのやりがいや生きがいにつながっている。

・会費を徴収することで、充実した内容を実施できている。

・活動報告を班内回覧し、地域住民に知ってもらう機会を作っている。

・活動することで、顔の見える関係が構築され、

日頃の見守り活動につながっている。

・活動を忘れてしまう方には、電話や迎えに行くなどして参加を促している。



・ケーキを作る、コーヒーを淹れるなど参加者の趣味を活動に活かしていただく機会を作ることで、参加者も嬉しくなり、作る側も生きがいにつながる。

・見守り活動中に気になったことがある場合は、班内回覧を通じて周知啓発をしたり、個別に声掛けを行っている。

・スタッフを当番制にして負担軽減を図っている。

・年齢を重ねると近所の友達と会う機会が減るため、若いうちから会う場所を作っておきたい。

■ 主催者の感想・反省

・他地区の活動を知ることが出来て、力をもらった。

・参加者のやる気や想いが沢山伝わってきた。

・今まで培ってきたことを表現する良い機会になった。

